



北九州市議会議員選挙

任期満了に伴う北九州市議会議員選挙が1月31日に行われました。近年の低投票率が懸念される中、新型コロナウイルスや人口減への対策などが焦点となりました。投票率は前回よりわずかに上回り、40.29%でした。自民党が6議席を失う大敗を喫した一方で立憲民主党などが議席を増やしました。その中で新人議員が躍進し、時代の変化も感じられる結果となりました。大切なのは、これからの4年間、候補者として約束したことや、議会活動で有権者に示せるかにかかっています。選挙公約は候補者が想いを語っていますが、その政策が「実現」出来るかの1点にかかっていると看做しても過言ではありません。北九州市の将来は市議会機能の充実に大きく左右されます。有権者目線を持ち続けていただき、現在の少子高齢化問題や経済の活性化、教育環境充実などの諸課題に正面から立ち向かわなければなりません。1番の課題は税収にもよる財政課題です。4年ごとの選挙に前回公約の成果や結果を示せる市政にしていかなければならないと考えています。より良いものを目指すのは、議員や市民といった立場を乗り越えていかなければならないとも考えています。市民、有権者から更なる政策提言も必要です。

投票率向上のためにハローキティ登場

北九州市議会議員一般選挙



北九州市議会議員 八幡東区

白石かずひろのハートフル通信

No.47 春号

[発行日] 令和3年4月 [発行人・編集人] 白石一裕

2021

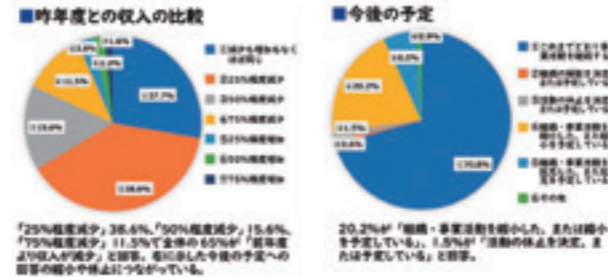
厳しい闘いの中で4選して頂き、決意を新たに精進致します!!
 ~市長質疑で区域区分問題、4度目の質疑を行いました~
 (2面掲載)

新型コロナウイルス感染症による市民活動団体への影響調査

必要な支援を把握し求められる対応策の確立へ

企業・団体交流委員会はコロナウイルス感染症が市民活動団体の皆さんにどのような影響を与えているかについて調べるため、「市民活動団体への影響調査」を2月12日から3月1日にかけて行いました。子ども食堂や障がい者支援のように、NPO法人をはじめとする市民活動団体は、行政の手の届きにくい範囲を幅広く担っており、活動の縮小や休止は、そのまま貧困家庭や様々な困難を抱えた多くの人たちの生活を直撃します。

このような問題意識から、コロナ禍での市民活動団体の現状把握と早急な対応策の確立を目的にアンケートを実施し、必要な支援を把握し、その対策に向けた取組を加速させる必要があります。調査はNPO法人をはじめとする全国約4000の市民団体に電子メールで依頼し、約1割にあたる367団体から有効回答をいただきました。**86%の団体が「団体経営や事業活動に影響を受けた」43%の団体が「顧客や活動の対象者が影響を受けた」と回答。「経営」に受けた影響で「活動の縮小による事業収入の減少」との回答が約6割を占めました。**



中央町地区まちづくりプラン提言書を提出!!

さる2月9日本庁にて中央町地区まちづくりプランの手交式がありました。八幡東区では、平成29年の旧八幡市制100周年を契機として、地域住民や関係団体を中心となり、概ね30年先に目指すまちの方向性について、「八幡東まちづくりプラン」が策定されました。このプランのエリアは中央町商店街を中心に、八幡東区役所や八幡東警察署、大谷球場といった公共施設を含めた約28haの範囲を検討エリアとして定め、中央町の現状や魅力を分析・整理し、プランの検討を進めていました。まちづくりの効果を大きく波及させていくには、中央町地区にお住まいの方々、土地所有者の方々をはじめ、企業、行政などまちづくりに関わる方が、主体的にまちづくりに関わって頂くこと、また互いに協力、協働してまちづくりを推進していただくことが、必要としています。

| | | | |
|------|---|----|---|
| 生年月日 | 昭和31年8月21日 八幡東区生まれ | 職歴 | 福岡県済生会八幡総合病院勤務(診療放射線技師) 平成21年 北九州市議会議員 初当選 平成25年 北九州市議会議員 2期目当選 平成29年 北九州市議会議員 3期目当選 令和 3年 北九州市議会議員 4期目当選 |
| 学歴 | 北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業 | 所属 | ハートフル会派市議団 幹事長、八幡東区議員懇話会 会長 立憲民主党福岡県連 幹事長代理 都市計画審議会委員、建設・建築委員会所属 議会改革協議会委員 ※多くの役職を拝命しています。 [令和3年4月1日現在] |

北九州市議会議員 白石かずひろ事務所 TEL.093-681-6128 FAX.093-681-6138
 e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp URL http://www.shiraishi-k.com

●この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。
 ●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。



白石事務所スタッフの面々



例年に比べて暖かい日が続き、桜の花も早々に咲きほころび、過ごしやすい季節を迎えました。皆さまにおかれましてはお健やかに過ごしの事と存じます。

さて、先の1月末に行われました

北九州市議会議員選挙におきまして、大変厳しい闘いとなりましたが、多くの皆さまからあたたかいご支援を賜り、4回目の当選を果たさせていただきました。

3期12年、懸命に地域課題の解決や、市政相談などを多数いただきながら丁寧に問題解決などに取り組んで参りました。とりわけ医療の現場からの言葉通り、市立八幡病院の建て替え実現は、自身の大きなテーマの一つであった事を考える時には感慨深いものがありました。現在のコロナ禍を思うと、間に合ってよかったと安堵の気持ちにもなります。

昨年からの世界的な流行で新型コロナウイルス感染症が蔓延、本市も大きな波を経験しながら、現在も総力を挙げて収束に向けた戦いに取り組んでいます。

これまで、本市独自のPCR検査対象の拡充など、検査、医療、保健所の体制整備・強化や、地元経済の事業継承と雇用維持のための支援など、感染拡大防止対策と社会・経済対策にス

3号線、東田⇄中央町をつなぐ横断歩道イメージ図掲載!!

リード感をもって、取り組んできました。福岡県にも「緊急事態宣言」が出されていましたが解除基準に達したため解除となりましたが、営業時間の短縮要請なども長期間に及びました。

日夜、最前線の現場で、市民の命、健康を守るためにご尽力いただいている医療・福祉関係者をはじめ、社会を支えていただいている皆さま方にあらためてお礼申し上げます。

ワクチン接種も開始をされましたが、希望者全員に行きわたるまでが現段階でははっきりしませんが、集団免疫と呼ばれるものを獲得できるまで、かなりの時間がかかると想像します。1日も早く平穏な日常生活が戻るように願ってやみません。

2月24日から新たに予算議会が開催されコロナ対策を含めた補正予算や過去最大の一般会計予算**6420億9500万円**が計上されました。

『~SDGs未来都市への挑戦~コロナに打ち勝ち、未来へつなぐグリーン成長推進予算』と名付けられ、コロナ対策市民支援の補正予算として**120億2700万円**計上され、売り上げが減少した事業者への一時支援金や経済的に困窮している学生への応援給付金など、緊急的な対策は予備費により先行実施するなど、総額で、**194億2200万円**の対策となっています。

検査・医療提供体制の確保に向けた取組として、北九州市PCR検査センターの運営やかかりつけ医など、市民に身近な医療機関で検査できるよう体制確保して参ります。

白石の2月議会市長質疑及び答弁

質問①「市街化区域と市街化調整区域との区域区分見直し」について

区域区分見直しについては、昨年12月議会での質問に対して、「候補地を再度見直していく」と、市長自ら答弁をいただきました。そのことで予定地域の皆さまも少し安心されたと感じています。

2月本会議においても各会派からも様々な質問がありました。市からは八幡東区以外の6区の見直し候補地について、今議会、常任委員会で公表し、その後関係者への説明に着手し意見について総合的に判断した上で、候補地の修正案を作成し、あらためて住民説明や意見聴取を行うことや、スケジュールを令和3年度に拘らずに見直していくとの答弁がありました。

区域区分の見直しによる開発制限は人口の急激な減少や、高齢化を背景にした高齢者や子育て世代にとって、安全安心な居住環境や持続可能な都市経営を実現するためには、重要な取り組みと評価しています。

一方で編入後の開発制限や現居住者の住み替えなどで様々な課題があり、現在の居住者の資産価値の低下や建物解体、転居に関わる費用などについて不安の声も多く聞いています。

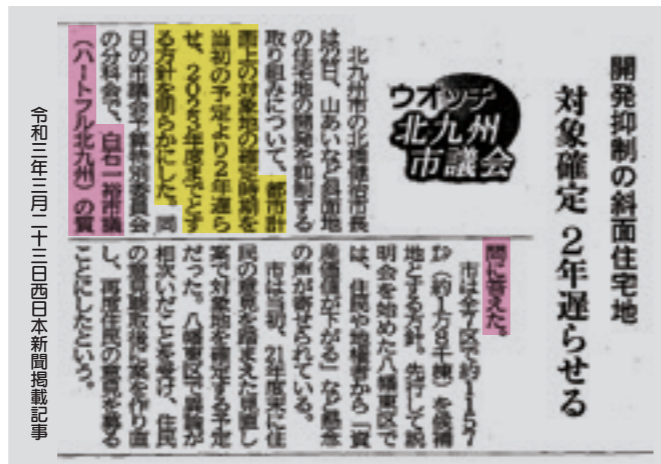
そこで2点お伺いします。

1点目に住民不安を取り除くため、スピード感をもって説明していく必要があると考えますが、具体的にいつ頃の都市計画決定を目途に進めていく考えなのかお伺いします。

2点目に災害に強くコンパクトなまちづくりを効果的に進める上で、開発許可制度の運用や防災集団移転促進事業の活用を検討し、国に要望してはどうかと考えますが、見解をお伺いします。



2月議会予算特別委員会で副主査を拝命



<見直し候補地の概要>

| 行政区 | 面積(ha) | 人口(人) | 建物数(棟) |
|-----------|--------------|----------|----------|
| 門司 | 約 375 (5%) | 約 12,900 | 約 6,200 |
| 小倉北 | 約 72 (2%) | 約 2,200 | 約 1,100 |
| 小倉南 | 約 48 (0.2%) | 約 1,000 | 約 600 |
| 若松 | 約 224 (3%) | 約 6,200 | 約 3,200 |
| 八幡西 | 約 120 (2%) | 約 2,500 | 約 1,300 |
| 戸畑 | 約 26 (2%) | 約 400 | 約 200 |
| 6区計(今回公表) | 約 865 (2%) | 約 25,200 | 約 12,600 |
| 八幡東(公表済) | 約 292 (8%) | 約 10,000 | 約 5,400 |
| 7区計(今回公表) | 約 1,157 (2%) | 約 35,200 | 約 18,000 |

()書きは、区域面積に対する見直し候補地の割合

市長 答弁

答弁要旨:関係者の皆さまから伺った意見を踏まえ、候補地の修正案を作成していきますが、住民の不安を取り除くには、より丁寧な対応が必要と考え、その修正案を再度、関係者の皆様にお示しをして説明する機会を設けることにしています。お尋ねの都市計画決定のスケジュールですが、令和3年度にこだわらずに、必要な期間を確保することとします。令和5年度での都市計画決定に向けて、手続きを進めていく予定です。次に開発許可制度の運用は、都市計画等で定められた土地利用や、防災等に関する技術基準に沿った立地の確保を行うものです。現制度で認められている居住の継続や、一定の条件の下での建替え等に改めて規制を加えることまでは考えていません。お尋ねの国の防災集団移転促進事業は、津波や浸水、崖崩れなど、災害の危険性が高く、居住に適さない区域内において、一定のまとまりを持って居住移転を行うものです。この事業は移転の対象となる区域が、住宅の建築を禁止する災害危険区域であること、また自治体が、区域内の住宅用地の取得や建物補償を行うことなどが条件となっており、権利者は得られた用地取得費などを活用して、集団で移転を行います。

また実施に際し、用地取得費や建物補償費に多額の自治体負担を要すること、住民の合意形成や、対象者への交渉に多大な時間を要すること、まとまった住宅用地が確保できず、既存ストックを活用する場合は調査や民間事業者との調整が発生し、移転後の跡地活用に十分な検討を要する事など、課題もあります。今後も国からの助言や、支援などもいただきながら、まずは区域区分見直しにしっかり取り組み、災害に強いまちづくりを進めていきたいと考えています。

東田⇄中央町 念願の横断歩道イメージ図を初公表!

先の新春号でお知らせしました、長年の懸案事項であった東田地区と中央町地区を結ぶ横断歩道のイメージ図を入手しましたので、いち早くお知らせ致します。

つながる街、東田中央町といわれて10年以上が経過しています。私自身も中央町周辺の皆さまや、スペースワールド駅から通勤をされている方々から、国道3号戸畑バイパスを横断できる歩道橋もしくは横断歩道の設置を切望されていました。度重なる協議を市役所や管轄の警察署などを行い、ついに横断歩道設置が実現するに至りました。あらためて関係各位に感謝申し上げます。この場所は今後建設予定の新科学館やアウトレットモールなどにもつながる重要な場所になると確信しています。現場は大変交通量の多い場所であり、横断には2段階で渡ることとなり、途中には安全地帯のような滞留場所も整備する予定です。(※実現には1年程度の時間を要します。)



スーパーシティ構想実現について (白石選挙公約)

スーパーシティ構想実現ですが、まずは概要として「住民が参画し、住民目線で2030年頃に実現される未来社会」を先行実現することを目指しています。

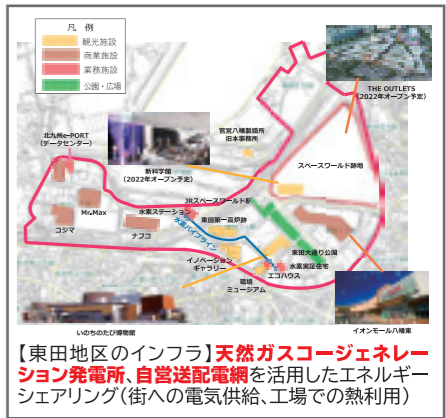
- ①生活全般にまたがる複数分野の先端的サービスの提供
※AIやビッグデータなど先端技術を活用し、行政手続・移動・医療教育など幅広い分野で利便性を向上。
- ②複数分野間でのデータ連携
※複数分野の先端的サービス実現のため「データ連携基盤」を通じて、様々なデータを連携・共有。
- ③大胆な規制改革
※先端的サービスを実現するための規制改革を同時・一体的・包括的に推進。

日本国内で5ヶ所程度が選定される予定のスーパーシティ構想ですが、本市も八幡東田地区でのノミネートを予定しています。参画事業者も決まり、来年オープン予定の新科学館やアウトレットモールを中心とした東田地区はデジタル先端技術を使った社会課題の解決にIoTや人工知能、ロボットなどの先端技術を活用し、政令市の高齢化率・人口減少などによる人手不足などの社会課題を解決することを目指しています。

国家戦略特区制度を活用しつつ住民と競争力ある事業者が協力し、世界最先端の日本型スーパーシティを実現



- まちなかに水素パイプラインを敷設し、北九州水素タウンの実証実験を実施中
- 災害に強い地域性からデータセンターが集積



【東田地区のインフラ】天然ガスコージェネレーション発電所、自営送配電網を活用したエネルギーシェアリング(街への電気供給、工場での熱利用)

ポテトのしとりごと

こんにちはポテトです!早いもので、桜の花も咲きほころび4月が始まりました。そして新型コロナウイルスが蔓延して1年が過ぎました。コロナの影響で色々生活が変化した1年でした。我が家の一番の変化は父さんの夜会合が減って、家ご飯が増えたことでしょうか。先日、父さんは久しぶりに夜会合に行きました。(注:悪い会合ではありません)目の前にある湯呑に薄茶色の液体が入っていたので、てっきり食前酒だと思い飲んでしまいました。あれ??それは食前酒ではなく、お刺身用のポン酢だったのです(笑)帰ってから母さんに「湯呑みみたいな器に入ったら普通はポン酢とは思わんやろ!」と。

でも母さんから「普通は匂いでわかると思うけど」と冷たく言われしょんぼり(涙)父さん、食べるばかりでなく、時々はお料理してみてはどうかってポテトは思うよ!